

4月1日の遺族会の会場は、いつもの場所とは異なりますので、お間違えのないように、おいでくださいね。

センターの桜が、きっと見頃ですよ。

4月1日の会場は、**中村生涯学習センター**です。 13:00開場、13:15スタート
(地下鉄 東山線 「本陣」駅下車 4番出口 南西へ300m)
当日、4番出口付近に、案内のスタッフが立っています。「リメンバー」と書いた紙を持ったスタッフを見かけたら、声をかけてくださいね!

★年間予定が決まりました!

会場の年間予約ができました。4月以外は、いつもと同じ、鶴舞の日本福祉大学名古屋キャンパスです。

- 第22回：2007年6月10日(日) 日本福祉大学 名古屋キャンパス
- 第23回：2007年8月26日(日) 日本福祉大学 名古屋キャンパス
- 第24回：2007年10月7日(日) 日本福祉大学 名古屋キャンパス
- 第25回：2007年12月2日(日) 日本福祉大学 名古屋キャンパス
- 第26回：2008年2月3日(日) 日本福祉大学 名古屋キャンパス

いずれも、13:00開場、13:15スタートです。

※遺族会に関する問い合わせは、上記会場へは絶対になさらないようお願い致します。

(会場の場所や、行き方についての問い合わせもご遠慮ください。)

※公共交通機関でお越しください。

■参加費：1,000円(会場費・コピー代などに充当します)

★3月9日頃、郵便を送ってくださった方へ

局留めの郵便物を、10日に一度、受け取りに行っているのですが、今回、受け取りに行くのが遅れてしまい、3月9日頃お送りいただいた郵便物が1通、差出人の方に返送されてしまいました。

お手紙をお送りくださった方には、本当に申し訳ありませんでした。お手数をおかけしますが、もう一度、お送りいただけませんか。どうかよろしくお願い致します!

★ 愛知県に、自死遺族の会がもう一つできました！

名古屋市内に、自死遺族の会ができました。

「AICHI 自死遺族支援室～こころの居場所～」<http://plaza.rakuten.co.jp/aichijisi>

これまで、愛知県内に自死遺族の会は、リメンバー名古屋自死遺族の会しかなく、2ヶ月に一度、年6回の開催でした。

AICHI 自死遺族支援室 ～こころの居場所～は、ブログを見ると、1ヶ月に一度のペースで開催されるようです。

初回はリメンバーと同一日程ですが、集いの開催情報を転載します。ご参加の皆様の利便性を考え、今後は可能なかぎりリメンバーと別日程になるよう、調整していただけるそうです。

◇分かち合いの会（毎月1回、日曜日）

* 日 時： 4月1日（日） 13:30～15:00 （開場 13:15）
※次回予定 5月13日、6月17日

* 場 所： なごやボランティア・NPOセンター 集会室
<http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/>
名古屋市中区栄 1-23-13 伏見ライフプラザ 12F
地下鉄「伏見駅」6番出口から南へ350メートル
地下鉄「大須観音駅」4番出口から北へ450メートル
（白川公園西側 中消防署と同じビルです）

* 参加費：（1回につき）
分かち合いの会 1,000円
※今後セミナー等開催の場合は、他に500円

* 申 込： メールまたは電話でお問い合わせの上、お名前とご連絡先を添えて下記までお申込みください。

○メールアドレス cocoroibasyo@yahoo.co.jp
○電話番号 090-4447-1840（12:00～21:00）
○郵送先 〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPO プラザなごや
A I C H I 自死遺族支援室～こころの居場所～

※氏名、連絡先等個人情報については、当方の事情で開催日の変更等があった場合の連絡のみに利用し、他の目的では利用いたしません。

申込締切：3月30日（金）

※締切後のお申込みについては、メールまたは電話でお問い合わせください。

★「リメンバー神戸」のご案内

■日 時：2007年5月27日（日）受付 1時40分～ 開始 2時～

■会 場：あすてっぴKOBÉ（神戸市男女共同参画センター）

神戸市中央区橋通3-4-3 電話 078-361-6977

* JR「神戸駅」徒歩7分

* 神戸市営地下鉄「大倉山駅」徒歩3分

* 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩3分

■問い合わせ・参加申し込み先：

〒651-2109 兵庫県神戸市西区前開南町1の2の1

阪神高齢者・障害者支援ネットワーク内

TEL. 050-5532-8813 FAX. 078-977-0224

E-mail: kobe@hospice.jp

★NHK ラジオ「土曜ジャーナル」の件

前回お送りした「号外」にて、3月3日に放送された番組に対する当会のスタンスをお伝えしましたが、当会は、あの番組が自死遺族支援の内容であったとは思っておらず、取材時の約束事を反故にされたこと、会の名称や趣旨をも否定するかの内容であったことについて、番組を制作したNHK 仙台放送局に対し、謝罪と訂正を求めています。

その後、今回の番組の責任者であるという、NHK仙台放送局アナウンス担当部長の平田氏と、今回の放送の担当だった津田アナウンサーが、今日までの間に2度、来名されました。

花井さん・近藤さん・鷹見の3人とで、経緯の確認をし、先方の説明を聞きました。

NHKの方からは、この放送を再放送しないことの確約をいただき、

「力不足であった」ということ、「決して悪意があったわけではない」ということの説明を受けました。

しかし、ふと思ったのですが、

明確な悪意をもって人が人を傷つけることって、

実はあまり多くないのではないのでしょうか。

大抵の場合は、悪意なく、場合によっては善意によって、

私たちは傷つけられることの方が多いのではないかな？そんなことを思いました。

今回、それを、NHKが公の電波の上でやってみせてくれた、ということなんだと思います。

だから、「悪意はなかった」と言われても、ああそうですか、と納得する気にはなれないのです。

力不足でなかったら、どんな番組になっていたのでしょうか。

花井さんが私の思いを代弁して、

「鷹見さんは、自責の念は卒業しちゃってるんですよ」と言ってくさっていたのですが、

それをききながら、「ああ、そうか、私は今、自責の念を持っていないんだ、

なのに、それをわざわざ語らされ、その語りを、まるで自死遺族はみな自責の念を持たなくちゃいけないかのようなストーリーに利用されたからこんなにも悔しいんだ、ということを理解しました。

「あのとき私がこうしていれば」
「私が電話をとってさえいれば」

たしかに私はずっと、その考えにとらわれていました。

しかし、何回か分かち合いに参加する中で、ふと、

「私が電話をとったぐらいのことで助けられるほど、簡単なことだったんだろうか？
そんな安易な選択ではなかったはずだ」

「あの電話は、SOSの電話ではなくて、お別れの電話だったんだ」

「父は、死ぬことをすでに決意していて、あの電話で、きっと私にお別れが言いたかったんだろう」

そんな風に、思うようになりました。
父と話さなかったことへの後悔の念は未だにありますが、
それからは、以前ほど自責の念に苛まれることはなくなりました。

そのように私自身の考えが変化したのは、
その思いを「人に話した」ことが大きかったと、振り返っています。

「話すことで考えを整理する」とか、
「話したら気持ちが落ち着いた」というのは、
日常生活の中でよく実感できることだと思いますが、
身近な人の自死については「その事実を話すことすらできない」状況が多くあり、
そのことが、苦しみを長引かせている一因だろうと、私は思っております。

また、たとえ善意からであっても、

「いつまで悲しんでるの」、
「そんなことを言っても、亡くなった人は喜ばないよ」、
「悲しんでいても、亡くなった人は生き返らないよ」、
「いつまでも泣いていてはだめ」、
「自責の念を持つことには意味が無い」、

悲しんでいること・苦しんでいることを責めたてるような、これらの言葉によって、
私たちはますます「語ってはいけないんだ」「悲しんでいてはいけないんだ」と、

思わされてしまいがちだと思うのです。

しかし、どんなに後ろ向きで、ネガティブな感情体験であっても、
そのような感情を抱いてしまう自分を認めたいし、周囲にも受け止めてもらいたいと思います。

「あのとき私がこうしていれば」
「あの人の後を追って死にたい」

そんな思いから逃れられない自分を、自他ともに、まずは認めることからしか、はじまれないのです。
そのためには、感情に「ふた」をせず、
意識して、語ったり表現したりすることが大切だと思っています。
自分の心を見つめるためにも、
自分のつらさ・苦しさ・亡くなった人への思いを、他の人にわかってもらうためにも。

だからこそ、「思い出す」「覚えている」「忘れずにいる」という意味の言葉「リメンバー」を、
会の名称として、会の趣旨として、私たちは大切にしているのです。

その趣旨をも全否定するような内容・構成の番組であったこと、
そんな番組に自分が出演してしまったこと、そして、その番組を皆様にお知らせしてしまったことが、
1ヶ月経っても、いまだなお、悔しいです。

仙台放送局との話し合いについては、進展がありましたら、またご報告致します。

なお、前号の号外で、分かち合いの会についての放送内容に触れましたが、
仙台的「藍の会」の批判のように読み取れる、との指摘をいただきました。
あくまでも、放送後、当会への批判としていただいた複数のメッセージに対する回答として、
当会のことを説明したものであり、他の会を批判する意図は、決してございませんでしたが、
藍の会のスタッフの皆様、藍の会にご参加の皆様には、私のつたない表現により、不愉快な思いをさせてしま
いましたこと、心からお詫び申し上げます。該当箇所については削除致しました。(号外<改訂版>)

★ “りめーる” を配信しています

メールでのご連絡を希望される方には、2007年度より、yahooのメーリングリストの機能を利用した「り
めーる」に登録させていただき、一斉配信させていただくことにしております。パソコン版りめーると携帯
版りめーるがあります。配信を希望される方は、「〇〇版りめーる登録希望」と書いて、メールにてご連絡く
ださいませ。

※「りめーる」は、yahooのメーリングリストの機能を利用していますが、皆様からの投稿はできない設定
になっています。(会からの一方的なお知らせメールです)

※どなたが登録なさっているかは、管理者以外はわからないようになっています。

★ボランティアスタッフ・運営委員募集

2ヶ月に一度の遺族会の運営は、ボランティアスタッフがを行っています。「スタッフになってもよい」という方は、お気軽にご連絡ください。

ボランティアスタッフになったからといって、かならず毎回参加しなければならないというわけではありません。「今回は参加者として」「今回は受付を」というように、毎回違った形で参加するのもOKです。

また、遺族会以外の、対外的なことなどは、「運営委員」で話し合っています。運営委員会への参画を希望される方は、下記要件をお読みの上、ご連絡くださいませ。

【運営委員の要件】

- ・遺族会の午前のプログラム、及び、別の日程で実施する運営委員会への参加率50%程度以上/もしくは、何らかの役割を継続的に担っていること
- ・遺族会運営スタッフ用のメーリングリストに登録していること
- ・運営委員に、自分自身は自死遺族でない方が入ることに納得できる方

★連絡先、その他

■eメール：remember_nagoya@yahoo.co.jp

「remember」と「nagoya」の間の「 _ 」は「 - 」(ハイフン)ではなく、「 _ 」(アンダーバー)ですのでお間違えのないようお願い致します。

■FAX：020-4668-8925 (電話ではありません) ■郵便：〒458-8799 名古屋市緑郵便局留め

■りめーる：「りめーる登録希望」と書いて、会宛にメールを送ってください。

■郵送会員の方は年会費をお願い致します。

★郵送会員への登録方法

- ・リメンバーしんぶんの郵送を希望される方は、「郵送会員」年会費をお支払いください。リメンバーしんぶんを発行の都度、郵送致します。(最新号は遺族会で配布しておりますし、最新の情報はホームページからもごらんになれますので、インターネットにつながる環境をお持ちの方は、郵送会員に登録される必要はありません。また、遺族会開催情報は、「りめーる」でも配信しています。)
- ・「郵送会員」の年度は、事務管理の都合上、1月1日より12月末までとさせていただきます。

1月～6月末までのお申し込み(前期) … 1000円 もしくは 切手13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期) … 500円 もしくは 切手7枚

- ・登録の手続きは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。
- ・遺族会の当日、受付でお支払いいただいても結構です。 **郵送会員入金用 郵便振替口座 00800-3-166920**

励ましのお便り・メールをくださった皆様、ありがとうございました。今回のラジオ放送に関しては、私自身も大変つらい思いをしましたが、こうして怒りや悔しさを共有してくださる皆様に、助けていただきました。本当に感謝しています。心からありがとう！ リメンバー名古屋自死遺族の会 代表幹事 鷹見